令和２年度岡山市学力アセスの結果について

令和２年度岡山市学力アセス
調査の概要　　岡山市教育委員会

１　調査の目的

○　児童生徒一人一人が自己の学習状況を把握し，今後の課題を明確にする。
○　調査結果を活用し，各校において教科研究の推進及び授業改善を図る。
○　児童生徒の学力状況を把握し，教育施策に反映する。
○　問題作成及び結果分析を教員が行うことによって，人材育成及び資質向上を図る。

２　調査の実施期間　　令和２年６月（新型コロナウイルス感染症対策のため実施期間を１ヵ月とし，各学校で実施日を設定）

３　調査の対象　　岡山市立小学校第４・５学年児童　　岡山市立中学校第１・２学年生徒

（小学校第６学年及び中学校第３学年は，全国学力・学習状況調査を実施する予定であったが，今年度は，中止）

４　調査の内容

（１）調査対象　　小学校・・・国語・社会・算数・理科及び質問紙
　　中学校・・・国語・社会・数学・理科・英語及び質問紙

（２）出題内容等

ア　学習指導要領に示された目標及び内容に基づき，　出題範囲は，　実施学年の前学年までの学習内容
イ　基礎的・基本的な知識・技能及び思考力・判断力・表現力等にかかわる内容を出題

５　結果の概要

学力調査により，全体の３分の１で前年度の平均正答率を上回っており，長期の臨時休業による大きな影響はなかったと考えられる。

また，意識調査により，中学校第２学年では，「授業の分かりやすさ」や「家庭学習の取り組み方」などの項目で改善しており，本市が進めてきた授業改善や家庭学習の取組が中学生になって大きな成果として表れてきていると考えられる。

今後，新しい生活様式による学校生活や授業スタイルの変化が，児童生徒の学力に影響を与えていくことも考えられるため，継続して注視していく必要がある。

６　実施状況

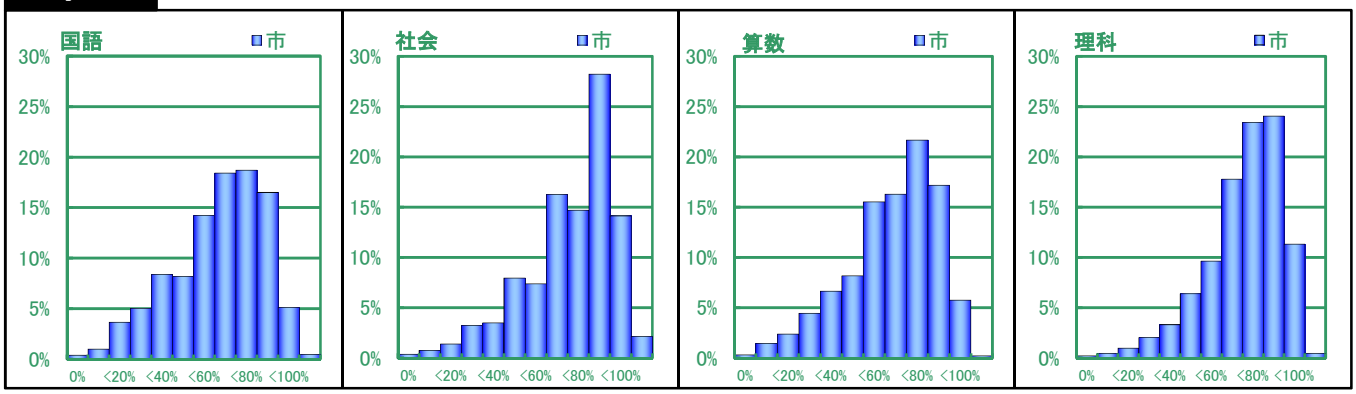
校種区分	対象校数	対象学年	受検者数
岡山市立小学校	89校	第４学年	6,103名
		第５学年	5,995名
岡山市立中学校	38校	第１学年	5,581名
		第２学年	5,457名
総　計	127校		23,136名

７　平均正答率　　数値は%　（　　）内は前年度

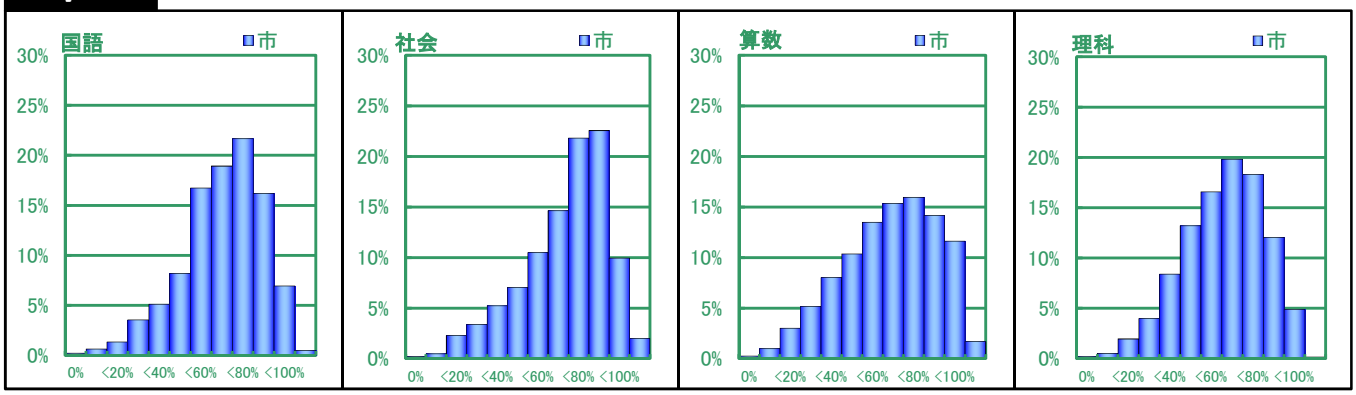
	学年	国語	社会	算数・数学	理科	英語
平均正答率	小４年	61.5(69.9)	70.3(78.1)	63.0(69.1)	70.2(68.0)	
	小５年	65.1(68.3)	69.0(74.9)	61.7(62.8)	59.2(67.6)	
	中１年	63.9(78.6)	62.1(67.2)	62.9(67.3)	58.2(57.8)	86.1(80.5)
	中２年	66.3(77.7)	70.6(64.2)	57.1(56.3)	61.3(60.4)	64.7(66.2)

正答の状況（正答率度数分布）

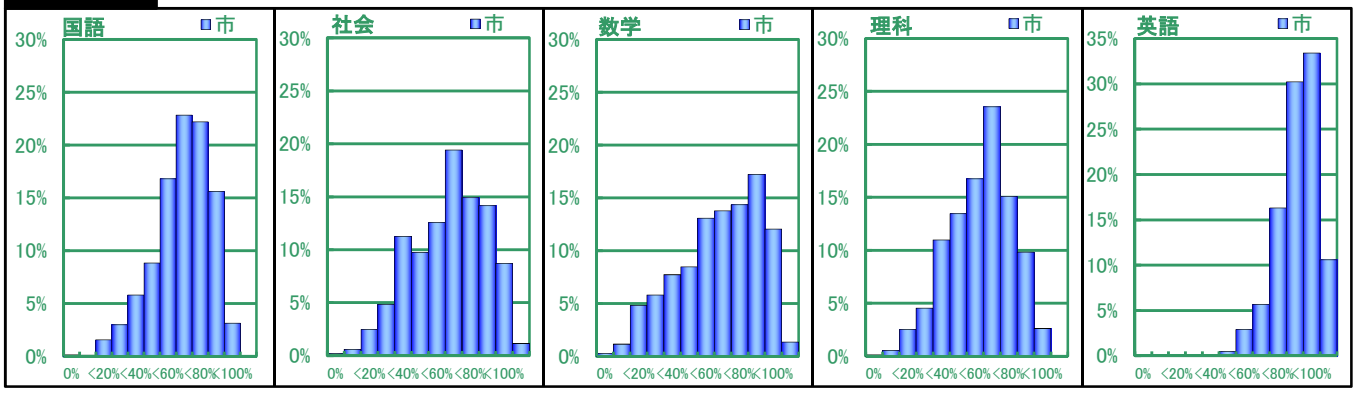
小4



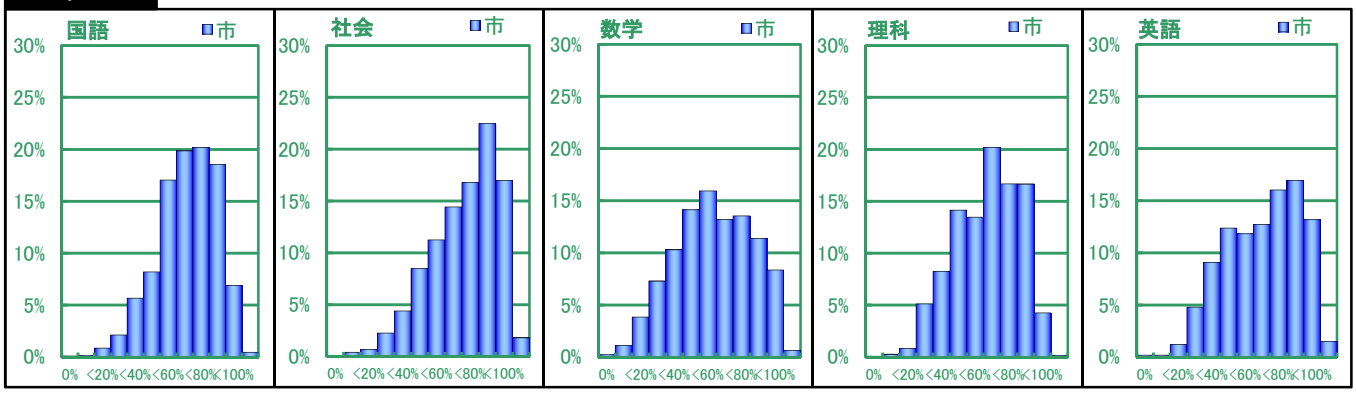
小5



中1



中2



○　国語の結果から分かること

（小学校）

◇　成果　漢字辞典の使い方を理解すること	◆　課題　相手や目的に応じて分かりやすく書くこと
＜小５の問題＞ **1** （３）漢字の「道」を漢字辞典で調べる場合、どうすればよいですか。次の［ア］～［ウ］に入る言葉の組み合わせを、あとの１～４から一つ選んで、その番号を書きましょう。⑪ ・部首さくいんを使う場合 ［ア］の［イ］のところを見る。 ・総画さくいんを使う場合 ［ウ］のところを見る。 １　ア…二画　イ…しんにょう　ウ…十一画 ２　ア…三画　イ…しんにょう　ウ…十二画 ３　ア…九画　イ…くび　ウ…十一画 ４　ア…三画　イ…くび　ウ…十二画 平均正答率　７２．８％ （Ｈ３１年度６１．７％）	＜小５の問題＞ **6** （２）夏川さんは、**【物語の一部（③できごとの変化）】**の後半を書くことにしました。 「ぼくは、」に続く後半の部分を、次の**〈注意する点〉**を守って完成させましょう。㉖㉗ **〈注意する点〉** ①　夏川さんが書いた**【物語の一部（③できごとの変化）】**の前半のように、**【あらすじ】**の文や絵の内容を入れながら、「ぼくは、」に続けて書きましょう。 平均正答率　４７．８％ （Ｈ３１年度５３．８％）

◆　国語の指導の改善に向けて

◇　漢字辞典の使い方や修飾語・被修飾語の関係など，言葉の特徴や使い方に関する知識が身に付いてきている。辞書の利用については，引き続き他の教科等の中でも積極的に利用できるようにしていくことが大切である。 ◇　「書くこと」に関する問題では，文末表現に留意しながら書くことついては改善傾向が見られたが，必要な情報を入れながら書くことについては依然として課題が残る。授業の中で，「書く」条件をしっかり意識させながら活動に取り組ませることが求められる。

○　国語の結果から分かること

（中学校）

◇　成果　文章で効果的に使われている表現技法を選ぶこと	◆　課題　伝えたい事柄について考えの根拠を明確にして書くこと
＜中２の問題＞ **3** （1）①運動部のみんなはサバンナの動物みたいとありますが、ここで使われている表現技法を、次の1～4から一つ選びなさい。 ⑬ 1　直喩 2　隠喩 3　擬人法 4　反復 平均正答率　４３．０％ （Ｈ３１年度３０．０％）	＜中２の問題＞ **5** （2）【話し合いの一部】にあるように、村田さんはＡ中学校の生徒の読書量について、よい傾向があると考えています。そこで、村田さんは、②国語が「少し苦手」「苦手」と感じる人でもしっかり読書に取り組んでいることについて、【アンケート調査の結果】の内容を示しながら、新聞記事の【下書き】を書いています。次の【下書き】の続きを、下の条件1から条件3にしたがって書きなさい。 ⑳㉑㉒ 【下書き】 Ａ中学校の生徒の読書量はよい傾向にあると言えます。なぜなら、 条件1　【アンケート調査の結果】から読み取れることを根拠として挙げながら書くこと。 条件2　全校生徒に読書を呼びかける内容を入れて書くこと。 条件3　誤字・脱字、文末表現に注意し、「なぜなら、」に続けて、八十字以上、百二十字以内で書くこと。なお、書き出しの言葉や、句点（。）や読点（、）、かぎ（「　」『　』）も字数にふくみます。 平均正答率　４５．１％

◆　国語の指導の改善に向けて

◇　文章で効果的に使われている表現技法の理解について改善傾向が見られた。引き続き，それぞれの表現技法のよさを実感できる活動を取り入れていくことが求められる。

◇　書くことに関する問題では，根拠を明確にしながら自分の考えを書くことに課題が見られた。根拠を明確にするためには，自分の考えが確かな事実に基づいたものであることを示すために資料等を用いることがある。根拠を自分の文章に中に記述することの必要性を感じることのできる活動を，系統的，継続的に行っていく必要がある。

○　社会の結果から分かること

（小学校）

◇　成果　都道府県の特徴と名称を理解している。

＜小５の問題＞

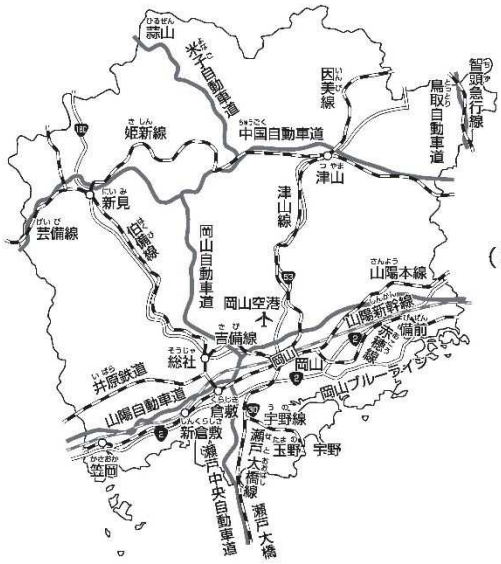
（２）　まさしさんは，都道府県のクイズを作りました。［　A　］にあてはまる都道府県の名前を漢字で書きましょう。 ⑯

問題	問題	問題
みかんの生産がさかんで，名前に「山」が入ります。	四国地方で，うどんが有名な県です。名前に「川」が入ります。	一番面積が大きい都道府県です。名前に方位の一つが入ります。
答え　和歌山県	答え　香川県	答え　［　A　］

平均正答率　９２．６％（Ｈ３１年度　８２．２％）

◆　課題　岡山県にある主要な交通網を資料から読み取ることができる。

＜小５の問題＞



（３）　次の文章中の［　　］にあてはまる言葉をそれぞれ書きましょう。 ㉑㉒㉓

岡山県の東西には，山陽自動車道や①［　　］道，南北には岡山自動車道などが通っている。また，新見駅から鉄道で津山駅に行くには，②［　　］線に乗れば行くことができる。さらに，沖縄県や外国など遠い場所へ飛行機で早く行くには，③［　　］を利用するとよい。

平均正答率　５５．２％（Ｈ３１年度７６．４％）

◆　社会の指導の改善に向けて

◇　都道府県の特徴や名称，岡山市の位置など，個別の事実等に関する知識を身に付けることはできているが，文章と関連付けながら地図上から必要な情報を読み取ることに課題がある。

◇　地図帳や資料を活用し，岡山県の交通網や主な都市の位置などを調べたり，白地図などにまとめたりする学習活動を取り入れていくことが大切である。

○　社会の結果から分かること

（中学校）

◇　成果　縄文時代の様子について資料を基に判断することができる。

＜中２の問題＞

（2）　縄文時代の様子を表した**資料イ**を見て，次の問いに答えなさい。

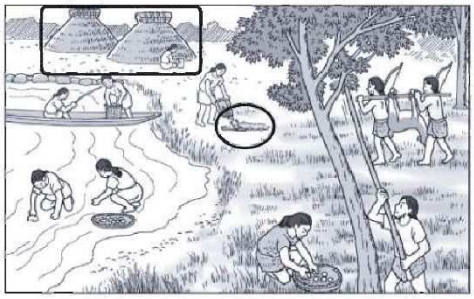
①　**資料イ**中の◯内に描（えが）かれている場所を現在発掘すると，当時の人々が捨てたごみや貝殻（かいがら）が見つかります。

このような遺跡を何というか，次の１～４から１つ選びなさい。　⑱

１　古墳（こふん）　２　石室

３　貝塚（かいづか）　４　土塁（どるい）

資料イ



②　**資料イ**中の□内に描かれている当時の人々の住居を何というか，次の１～４から１つ選びなさい。　⑲

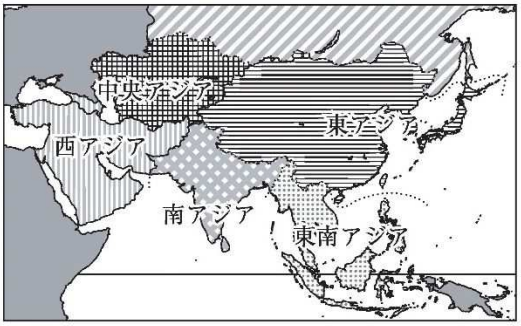
１　蔵屋敷（くらやしき）　２　土倉（どそう）　３　物見やぐら　４　たて穴住居

平均正答率　９５％

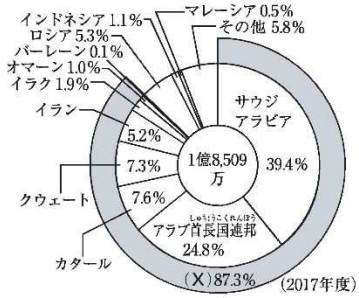
◆　課題　資料の情報を基に，地域名を判断することができる。

＜中２の問題＞

資料ウ　アジア州の地域区分



資料エ



（5）　**資料エ**中の(X)には，**資料ウ**中のアジア州内の５つの地域のどこか１つが入ります。

(X)でまとめられている国々が位置する地域名を書きなさい。　⑮

平均正答率　４４．９％

◆　社会の指導の改善に向けて

◇　各時代の特徴を表す個別の事実等に関する知識の定着は高いことが伺えるが，地図や資料などから情報を読み取り，判断することに課題がある。

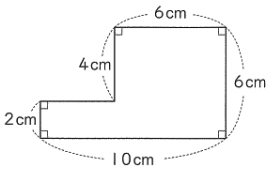
◇　学習課題を設定したり，追究したりする過程において，生徒自身が複数の資料を関連付けて考えたり，判断したりすることができるようにしていくことが大切である。

○　算数の結果から分かること

（小学校）

◇　成果	◆　課題
Ｌ字型の面積を求める式を考えることができる。	４桁の整数の大小について理解している。
＜小５の問題＞	＜小４の問題＞

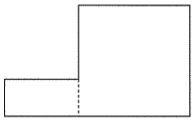
6　ゆりこさんは，次の図形の面積を求めようとしています。あとの問題に答えましょう。



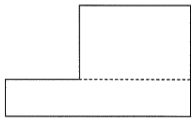
（1）　ゆりこさんは，３つの求め方を考えました。次のア～ウの式に合う図は，それぞれあとの**1**～**3**のうちどれですか。答えは**1**～**3**から１つずつ選んで，その番号を書きましょう。

ア	イ	ウ
6×10＝60 4×4＝16 □＝44 44cm²	2×4＝8 6×6＝36 8＋36＝44 44cm²	2×10＝20 4×6＝24 20＋24＝44 44cm²

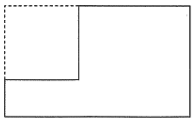
1



2



3



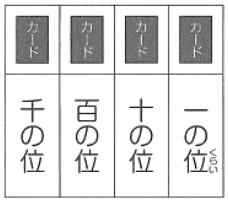
平均正答率

ア　８１．９％　（目標値　８０％）

イ　８０．１％　（目標値　８０％）

ウ　８０．５％　（目標値　８０％）

2　みかさんは，0，4，5，8，9の５まいのカードから，４まいえらんで４けたのいろいろな数をつくります。



いちばん小さい数の千の位は4になります。百の位は，のこりのカードの中でいちばん小さい0になります。
十の位，一の位も同じように考えて，いちばん小さい数は，4058です。

（1）　２番目に大きい数を答えましょう。

平均正答率

４．８％　（目標値　５０％）

Ｈ３０類似問題【平均正答率】

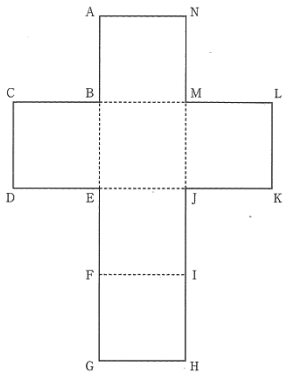
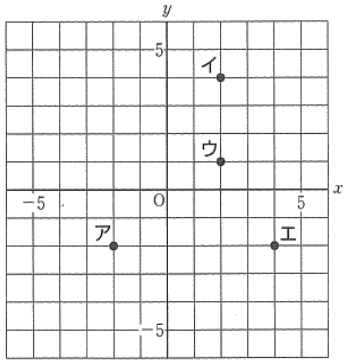
１３．８％　（目標値　９０％）

◆　数学の指導の改善に向けて

◇　数のまとまりに着目し，手際のよい比べ方を考えることができていない。数を比べたり，数え直したりすることが容易になるように，工夫して数える必要があるため，数のまとまりに着目させることの良さに気付くことができるような指導の改善が求められる。

○　数学の結果から分かること

（中学校）

◇　成果　　展開図の重なる辺や点について答えることができる。	◆　課題　　比例の式からグラフ上の点を求めることができる。
＜中２の問題＞ **8**　次の図は立方体を展開したものです。この立方体について，あとの問いに答えなさい。  （1）　辺ANと重なる辺を答えなさい。 （2）　点Lと重なる点をすべて答えなさい。 平均正答率 （１）９１．９％　（目標値　９０％） （２）８１．８％　（目標値　７０％）	＜中２の問題＞ （3）　$y=2x$のグラフ上の点を，次のア～エから１つ選びなさい。  平均正答率 ３３．３％　（目標値　７０％） Ｈ３０類似問題【平均正答率】 ４６．６％　（目標値　７０％） Ｈ２９類似問題【平均正答率】 ４４．６％　（目標値６０％）

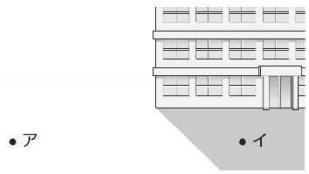
◆　数学の指導の改善に向けて

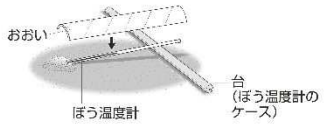
◇　座標の意味を理解し，座標を用いることによって，グラフを点の集合として表したものであるという理解を進めることが重要であると考えられる。表，式，グラフを用いて表すとき，これらを別々のものとして扱うのではなく，これらの表し方を相互に関連付けて理解できる授業の工夫が必要である。

○　理科の結果からわかること

（小学校）

<table>
<tr><td>◇　成果　日なたでの地面の温度の正しい測り方が分かる。</td><td>◆　課題　長時間モーターを動かすのは，並列つなぎであることが分かかる。</td></tr>
<tr><td>＜小４の問題＞

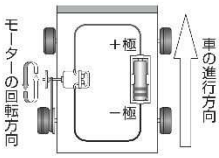
6　よく晴れた日に，日光が当たる校庭の日なたの地面アと校しゃのかげになる日かげの地面イの温度を調べてくらべます。あとの問題に答えましょう。
 

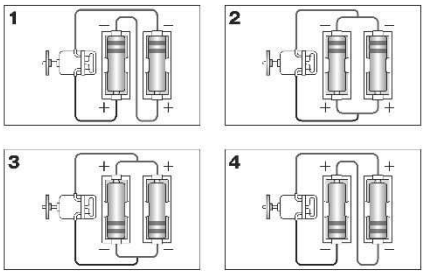
（1）　次の図のように，日なたの地面の温度をはかるときは，ぼう温度計におおいをします。
 

ぼう温度計におおいをするのはなぜですか。次の1～4から1つえらんで，その番号を書きましょう。
1　ぼう温度計が風で転がらないようにするため。
2　ぼう温度計が日光で直せつあたためられないようにするため。
3　ぼう温度計がふまれたとき，おれないようにするため。
4　ぼう温度計がすなでよごれないようにするため。

平均正答率
９３．２％（目標値　８０％）

Ｈ２９類似問題【平均正答率】
８９．７％（目標値　８０％）</td><td>＜小５の問題＞

（3）　3人は，かん電池で動く車を長時間動かそうと車に工夫することにしました。かん電池を2つ使って進行方向に長時間動かすには，どのようにつなげばよいですか。次の1～4から1つ選んで，その番号を書きましょう。
 

平均正答率
４１．０％（目標値　７０％）

Ｈ３１類似問題【平均正答率】
３４．３％（目標値　７０％）

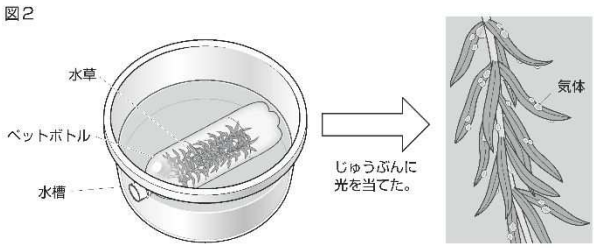
Ｈ３０類似問題【平均正答率】
４４．４％</td></tr>
</table>

◆　理科の指導の改善に向けて

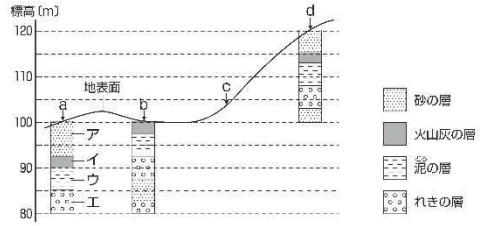
◇　乾電池のつなぎ方を変えると，電流の大きさや向きが変わり，モーターのまわり方が変わることの理解に課題がある。電気の流れを理解させるとともに，条件を整理しながら実験を行うことが必要である。

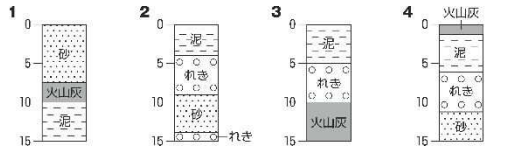
○　理科の結果から分かること

（中学校）

<table>
<tr><td>◇　成果　酸素を検出する方法を指摘できる。
光合成のしくみを理解している。</td><td>◆　課題　ある地点の地層の重なりのようすを，地層の傾きから推測することができる。</td></tr>
<tr><td>＜中２の問題＞
〔実験２〕
①　図２のようにペットボトルに水草を入れ，水槽に入れてじゅうぶんに光を当てた。
②　しばらくすると，気体が発生し，ペットボトルの中にたまった。
図２
 

（３）　実験２の②で，ペットボトルにたまった気体は酸素と考えられます。気体検知管以外の方法で，実験２でたまった気体が酸素であることを確かめるためには，どのようにすればよいですか。次の１～４から１つ選びなさい。
１　水でぬらしたリトマス紙を気体にふれさせる。
２　あおぐようにしてにおいをかぐ。
３　石灰水に通して変化を見る。
４　火のついた線香を入れる。
（４）　次の図は植物が光合成をするときに必要なものと，光合成によってできるものを表しています。［　ア　］にあてはまる言葉は何ですか。
光
［　ア　］＋二酸化炭素 → デンプンなど＋酸素

平均正答率
（３）８２．２％（目標値　７０％）
（４）７０．１％（目標値　７０％）
Ｈ３１類似問題【平均正答率】
（３）７６．６％（目標値　７０％）
（４）５８．６％（目標値　７０％）</td><td>＜中２の問題＞
10　ある地域の地層の重なりのようすを調べ，次の図のように，地形の柱状図を表しました。この図から，この地域の地層は，断層がなく，一定の傾きで連続して広がっていることがわかりました。あとの問いに答えなさい。
 

（３）　上の図のｃ地点の地表から地下 15m の柱状図はどのようになりますか。次の１～４から１つ選びなさい。
 

平均正答率
２８．５％（目標値　５０％）</td></tr>
</table>

◆　理科の指導の改善に向けて

◇　野外での観察が困難であることが推測されるが，地層の重なり方や広がり方について規則性を見いだせるような手立てが必要だと考える。また，立体的に広がる地層や宇宙の構造について，イメージがもちやすいようにＩＣＴを効果的に活用することが必要である。

○　外国語の結果から分かること

（中学校）

◇　成果 英文の内容を活用すること	◆　課題 テーマにもとづいて，まとまった英文を書くこと
＜中２の問題＞ 英文の情報をもとに，登場人物がしたことを表にまとめる問題	＜中２の問題＞ 「場所」「食べ物」「気候」などから，岡山のよいところを１つ選び，３文以上の英語で書く問題

7　次の(1)と(2)の問いに答えなさい。

（2）　次の英文を読んで，下の表のア～エに当てはまる答えとして正しい組み合わせを，あとの１～４から１つ選びなさい。

I visited Osaka with my family last month. We went there by car. On the first day, we visited Namba. I saw many restaurants in that *area. We can have many *delicious food there. We ate *Kushiage* and *Takoyaki* for dinner.

On the second day, my father and I went to Osaka Dome. We watched a nice *match and bought our favorite player's *T-shirts. My mother and sister went to the USJ. They enjoyed many *rides and bought *character goods.

On the last day, my father talked with his old friend in Osaka. My mother, sister and I went to NGK, Namba Grand Kagetsu. We enjoyed the *shinkigeki-show* and got the *autograph of our favorite *Owarai* star after the show.

All members of my family had a good time on this trip.

（注）*area　地域・地区　*delicious　おいしい　*match　試合　*T-shirt(s)　Tシャツ　*ride(s)　乗り物　*character good(s)　キャラクターグッズ　*autograph　サイン　*Owarai* star　お笑い芸人

	父がしたこと	母がしたこと	私がしたこと	妹がしたこと
1日目	難波で夕食を食べた	難波で夕食を食べた	難波で夕食を食べた	難波で夕食を食べた
2日目	ア	イ	ア	イ
3日目	ウ	エ	エ	エ

１　ア　野球の試合を見た
　　イ　乗り物を楽しんだ
　　ウ　新喜劇を楽しんだ
　　エ　友達と会って話した

２　ア　友達と会って話した
　　イ　キャラクターグッズを買った
　　ウ　選手のTシャツを買った
　　エ　お笑い芸人のサインをもらった

３　ア　選手のTシャツを買った
　　イ　キャラクターグッズを買った
　　ウ　友達と会って話した
　　エ　お笑い芸人のサインをもらった

４　ア　乗り物を楽しんだ
　　イ　野球の試合を見た
　　ウ　友達と会って話した
　　エ　新喜劇を楽しんだ

平均正答率　５６．８％

（Ｈ３１年度４３．９％）

9　新しく来られたALTの先生に，クラスの生徒みんなで岡山のいいところを伝えるメッセージを書いて渡すことになりました。［　　］の中の指示に従って，そのメッセージを英語で書きなさい。

・内容につながりのある３文以上の英語で書くこと（なるべくたくさんの文で書くこと）。
・最初の文は，「場所」「食べ物」「気候」など，あなたが岡山でいいと思うことをあげること。２文目からはより詳しく自分の知ってほしいことについて具体的に書くこと。

平均正答率

①おかやまのいいところ　３２．７％

②詳しい情報　２２．９％

③詳しい情報　２３．２％

（参考：Ｈ３１年度）

自己紹介の手紙を３文以上の英語で書く問題

9　新しく来たALTの先生に，自己紹介の手紙を書くことになりました。［　　］の中の指示に従って，その自己紹介の文を英語で書きなさい。

・内容につながりのある３文以上の英語で書くこと（なるべくたくさんの文で書くこと）。
・最初の文は自分の名前を紹介する文を書き，２文目からは「自分の好きなもの・こと」，「自分のできること」など，自分のことについて知ってほしいことを具体的に書くこと。

平均正答率

①自分の名前　８３．１％

②詳しい情報　８４．０％

③詳しい情報　７５．５％

◆　英語の指導の改善に向けて

◇　平成３１年度に課題があった問題については，本年度の調査で改善が見られたもの（対話の聞き取り／長文読解）が多く，授業改善の成果が表れている。

◇　テーマによって英作文の正答率が大きく変動することから，例えば，英語を読んだり聞いたりした後や会話した後に，その内容について感想や自分の考えを（短い文章でも）書く場面を設定し，様々なテーマに触れることが必要である。

◆質問紙の結果概要

今年度の児童生徒の回答結果は，昨年度の結果と比較して大きく変化しており，新型コロナウイルス感染症による臨時休業（3/2～25，4/21～5/20）が児童生徒の学習状況に明確な影響を及ぼしている。

小学校・中学校の結果を合わせてみると，家庭学習時間がやや増加した一方，他の項目では，昨年度と変わらないか，または，状況が悪化している。

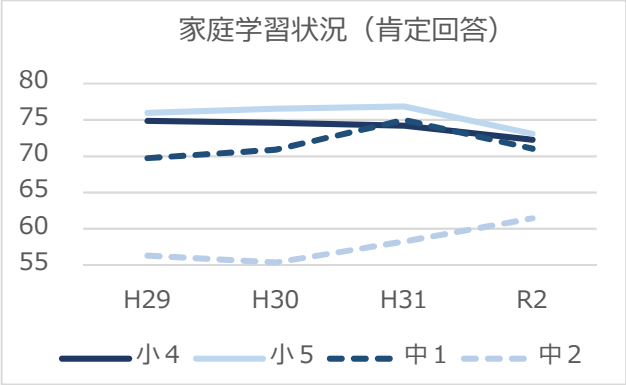
意識調査について「家庭学習状況」,「授業づくり」,「授業理解」,「家庭学習時間」,「ゲームやインターネット等の使用時間（※)」，５つの領域ごとに結果を示す。

※「ゲームやインターネット等の使用時間」は，平日１日当たりにゲームや携帯電話やスマートフォンで通話やメール，インターネットをする時間。

【家庭学習状況】≪質問番号（１）～（４）≫

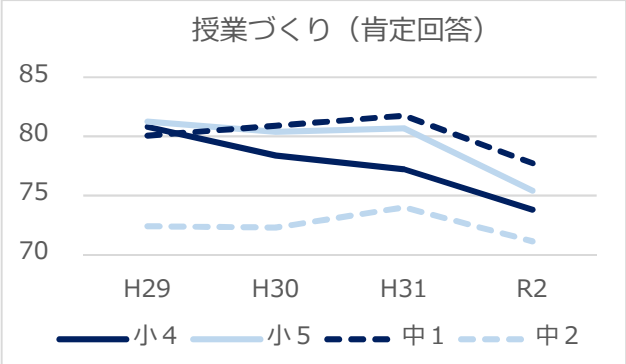
平成２９年度から平成３１年度まで改善傾向であったが，今年度，小学校第４・５学年，中学校第１学年では，肯定的な回答をした児童生徒の割合が，全ての学年で減少している（－０．７ポイント～－７．５ポイント)。

一方，中学校第２学年では,「家で，学校の宿題をしている」の項目以外は，昨年度より肯定回答が増加している（４．３ポイント～５．７ポイント)。



【授業づくり】≪質問番号（５）～（９）≫

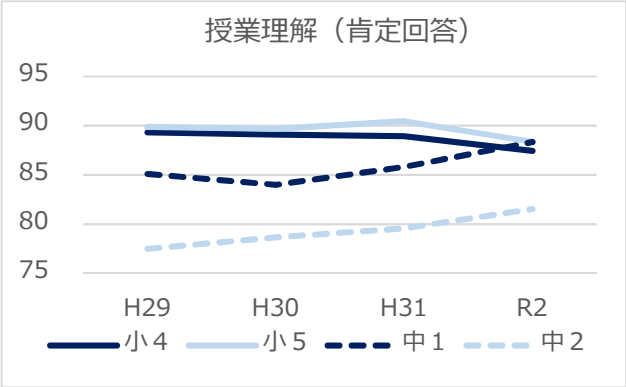
小学校第４学年以外で，平成２９年度から平成３１年度まで改善傾向であったが，今年度，全ての学年で，肯定回答が減少している（－０．２ポイント～－７．９ポイント)。



【授業理解】≪質問番号（１０）～（１４）≫

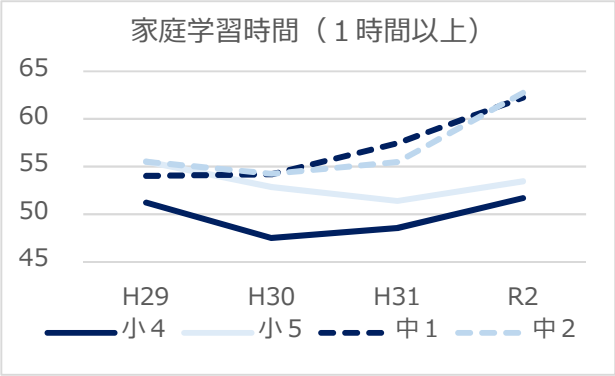
平成２９年度から平成３１年度まで改善傾向であったが，今年度は，小学校第４・５学年では，肯定回答が減少し（小４社会：－４．７ポイント)，中学校第１・２学年では，肯定回答が増加（中２数学：７．０ポイント）している。

また,「(教科）の授業の内容はよく分かる」という質問に対し,「当てはまらない」と回答した児童生徒の割合は，小学校第４・５学年では，増加し，中学校第１・２学年では減少している。



【家庭学習時間】≪質問番号（１５），（１６）≫

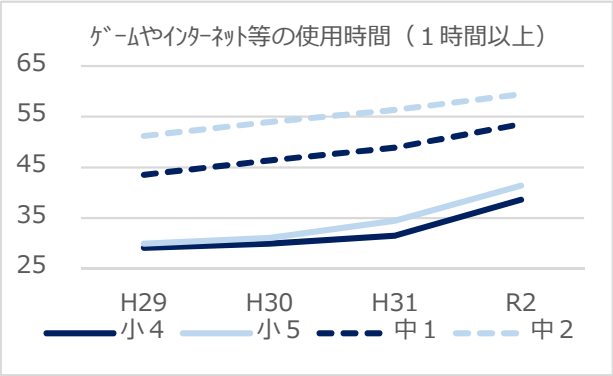
１時間以上勉強した児童生徒の割合は，昨年度より，全ての学年で増加している（中学校第２学年では，＋１１．３ポイント）。特に，中学校第１・２学年において増加幅が大きい。また，３時間以上勉強した児童生徒の割合については，中学校で増加している。



【ゲームやインターネット等の使用時間】
≪質問番号（１７），（１８）≫

平成２９年度より，毎年全ての学年で増加している。昨年度と比較し，１時間以上が０．７～８．９ポイント，３時間以上が１．１～４．６ポイント上昇している。

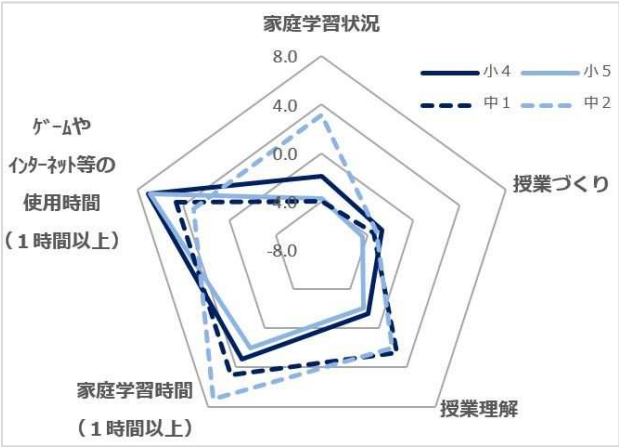
また，小学校第４・５学年に比べ中学校第１・２学年の方が，使用時間が長いが，前年度からの増加幅は，小学校第４・５学年の方が大きい。



◆質問紙の結果より

小学校第４・５学年については，中学校第１・２学年と比較し，授業理解と，家庭学習時間の項で増加幅が小さく，ゲームやインターネット等の使用時間の項目で増加幅が大きいことから，中学生より小学生の方が，新型コロナウイルス感染症による臨時休業の影響が大きかったと考えられる。その要因として，小学校では，毎日の学校での授業と宿題を教員と保護者とが連携して児童の学習を支援していたが，臨時休業に伴い，児童だけで家で生活する時間が増え，一人で学習に取り組むことが困難になったためである。また，その影響は学校再開後の授業にも及んでいると考えられる。

一方，中学校第１・２学年では，授業理解や家庭学習時間の項目は改善している。また，ゲームやインターネット等の使用時間について，１時間以上使用する生徒の割合が，０．７～７．８ポイントの上昇であったが，約２か月間の臨時休業の期間を考慮すると，比較的に上昇の幅が穏やかであった。これは，生徒が自分でルールを決めて生活できていたと考えられる。さらに，「家で，自分で計画を立てて勉強している」生徒の割合が，中学校第２学年のみ昨年度より増加していることから，臨時休業中の自宅での生活について，自分で計画を立てて生活や勉強をすることができたからである。また，これまで，授業改善と家庭学習の取組を進めてきており，その取組の成果が表れていると考えられる。



「平成３１年度との比較（肯定回答）」

今回の調査では，学年が下がるほど，臨時休業の影響が大きく，学校教育の重要性が明らかになった。また，小学校においては，授業が分からない児童が増加しているので，児童一人一人の学習状況を的確に把握し，未習熟の内容について補充学習を行うなどと取組を工夫する必要がある。

今後，臨時休業のために増加したゲームやインターネット等の長時間使用が定着しないように，学校再開後の児童生徒の生活習慣を継続的に把握するとともに，ルール作りについて，支援する必要がある。